

1-7 落花生は原産地のどんな所にあり、どのように広まっていったの

分布域:①高原 ②山の峰 ③山の裾野 ④低地の原野

伝播方法:⑤鳥や動物の助けを借りて ⑥風の力によって ⑦川の水に流されて ⑧人の力によって

落花生の原始的な祖先野生種は、ブラジル高地の楕円状の地域に分布しており、そこから流れる河川の流域に沿って各種類の野生種が分布しています。分布域の正解は祖先野生種では①、その他の野生種では②～④となります。

野生種も地下結実をするため、他の植物のように風によって広まることはなく、動物や昆虫によって運ばれることも、それほど多くはないと思われます。計算上は植物単独では、生長と結実に伴って年に1～4m程度、分布域を広げるとされますが、これでは10万年かかっても100～400kmしか分布域が広がらず、現在の広域的な分布状況を説明することができません。そのため、多くの研究者は、野生種が分布域を広げていったのは、大雨による洪水も含め、河川の流水や泥により植物体や莢実が物理的に移動・拡散されたことによるものと考えています。

また、栽培種が地表から5～15cm位の比較的狭く浅い位置で莢実が成長するのに比べ、野生種は浅いところから深いところまで、いろいろな位置で莢実をつけます。これだと洪水にあっても、全部の莢実が一度に集中して流されず、いろいろな所と時期にバラバラになって流されていくことができますよね。そうすることで、ゆっくりですが安定して、また安全に生息域を広げていくことができたのではないかと筆者は考えています。

栽培種はアンデス山脈の裾野に原産地がありますが、人為的に利用されて、その有用性を確認した人々により、交換・販売品等として他地域にも伝播することが多かったと考えられます。

正解 祖先野生種:①と⑦ それ以外の野生種:②～④と⑦ 栽培種:③と⑧